

職場における COVID-19 予防対策

対策の優先順位(ヒエラルキー)の適用

まず最も効果が高い対策を検討し、それから次のレベルの対策に進む。あらゆる場合に、物理的距離置き、手洗い、咳エチケットは必須。

最も効果が高い

リスクの根絶

代替化

工学的対策

管理的対策

PPE

最も効果が低い



リスクの根絶と代替化

- ・可能な場合、労働者にリモートワークを認める。
- ・個々にまたは職務役割に基づいて、対面で職場に報告する必要があるかどうかを見直す。
- ・(糖尿病、心臓や肺の病気、がんを含め)免疫力を損なう健康状態にある者や免疫障害をもつ人と一緒に暮らしている者は、リモートワークを続ける必要があるかもしれない。
- ・オンライン会議など、リモートワークを促進する技術を活用する。



個人用保護具(PPE)



マスク フェイスシールド ガウン



工学的対策

- ・物理的防壁(バリア)
- ・頻回な換気と効果の高いフィルター
- ・蛇口、扉やごみ箱の蓋のセンサー化や接触をなくすかまたは減らす対策



管理的対策

- ・リスク及びルールへの周知
- ・在室時間制限、時差シフト/チーム
- ・決裁や管理業務の電子化
- ・オンライン作業/注文
- ・頻回な清掃
- ・物理的距離置き、手洗い、咳エチケット
- ・物理的距離置きを促進するための作業慣行の変更

医療用でないマスク

- ・医療用でないマスクは**個人用保護具ではない**。
- ・医療用でないマスクを使用する場合に関する地元の公衆衛生当局の助言に従う。
- ・マスクが傷んだり、濡れたり、汚れたら、交換する。
- ・医療用でないマスクやフェイスの覆いの着用は、とりわけ混みあった状況で、他者から2mの距離を維持できない場合に勧告される。
- ・マスクの着用だけではCOVID-19の拡大は防げないが、役には立つ。物理的距離置きと手洗いの奨励を継続。